

日本原子力学会 原子力発電部会
次期軽水炉の技術要件検討 WG 第 5 回会合
議事録

日時 : 2019 年 8 月 1 日 (木) 13:30～ 16:00
 場所 : 東京大学工学部 8 号館 2 階 226 大会議室
 出席者 : 山口_{主査}(東大)、大神_{幹事}(関電)、有田_{幹事}(MHI)、糸井_{委員}(東大)、
 宇井_{委員}(電中研)、浦田_{委員}(NEL)、楠_{委員}(原電)、黒崎_{委員}(京大)、越塚_{委員}(東大)、
 佐藤_{委員}(関電)、斉藤_{委員}(東大)、佐治_{委員}(MHI NS エンジ)、菅原_{委員}(電中研)
 谷口_{委員}(東電)、成川_{委員}(JAEA)、藤木_{委員}(東芝 ESS)、与能本_{委員}(JAEA)
 松浦_{委員}(日立 GE)、宮口_{委員}(MHI)、東_{委員}(WH)、山路_{委員}(早大)
 オブザーバー : 今井(安藤ハザマ)、兼近(鹿島)、小池(IHI)、合田(MHI)、杉谷(MELCO)、鈴木(大成)、
 竹地(関電)、高山(MHI)、森松(関電)、吉田(日揮)、吉田(大林組) (敬称略)

配布資料 :

- 資料 5 - 1 : 第 4 回 WG 議事録
- 資料 5 - 2 : 次期炉 WG コメント処理表
- 資料 5 - 3 : 第 4 回 WG 資料 4-3 改訂版
- 資料 5 - 4 : 第 4 回 WG 資料 4-6 改訂版
- 資料 5 - 5 : 「溶融炉心冷却対策に関する協議」

議事 :

1. 参加者確認、第 4 回 WG 議事録、第 4 回 WG 資料改訂版の確認

WG 委員名簿を用いて、幹事より委員交代の紹介、及び当該 WG 出席の委員、オブザーバーの確認があった。また、第 4 回 WG 議事録(資料 5-1)について幹事より報告あり。またコメント処理表(資料 5-2)、第 4 回資料改訂版(資料 5-3、5-4)に基づいて第 4 回 WG のコメント回答・処置について幹事より説明した。

DB/DEC/PE に対する発生頻度と影響度合の関係を判りやすく表現する方法に関しては DEC の外側の領域に関してどのような定義とすべきかについて補足と議論があり。表現方法については事務局にて再検討する事とし、本件以外の第 4 回 WG のコメント処置については全て確認された。

2. 溶融炉心冷却方式に関する協議

資料 5-5 を用いて溶融炉心冷却方式に関する議論の整理結果を幹事より報告した。

溶融炉心冷却対策に関しては IVR、ウェットキャビティ方式、ドライキャビティ方式の 3 方式について不確かさや残余のリスクを整理した結果に対して新設炉の設計選択の際に考慮すべき事項に見落とし等が無いかを協議した。委員より戴いたご意見を踏まえ、資料をブラッシュアップして行く事とした。さらに、新設炉では、極めて低い確率の現象(MCCI 及び水蒸気

爆発)に対しても物理現象の不確かさを考慮した設計とし、残余リスクや設計上の留意事項に配慮しつつ、深層防護の実装の観点でバランスの良い防護性能となるように対策システムを設計する方針であることを説明し、合意を得た。

3. その他

- ・ 次回の日程（予定）

#6WG： 2019 年 11 月 8 日（金） 13:30～16:30 @東大工学部 8 号館 2 階 226 大会議室

- ・ #7WG の日程

2020-2/B 頃の計画であり、2/17、2/18、2/19 で別途幹事よりメールにて委員のご都合を確認した上で設定する。

以 上